

単元名 ざいりょうから ひらめき(絵)

配当時間 5時間

単元の目標 (1) 材料の形や色を見付け、組み合わせたり加工したりして表し方を工夫することができる。
 (2) 材料から、表したいことを考えるとともに、友達と作品を見せ合い、材料の使い方や表し方の面白さを感じ取ることができる。
 (3) 集めた材料を使って、絵に表すことを楽しもうとする。

標準的な展開例

02080203_001

【準備等】 身近材（ビーズ、ストロー、ボタン、包装紙、綿、布、リボン、毛糸、ひも、色紙など）色画用紙、共同絵の具、作品カード、クレヨン、パス、サインペン、はさみ、のり、木工用接着剤、化学接着剤 など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 材料から受ける印象を話し合い、表したいことを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ○材料を見たり、触ったり、並べたり重ねたりなど、様々なことを試しながら、形や色、質感を感じ取る。 ○材料の特徴から思い付いたことを発表させ、自分や友達との感じ方の違いを知り、想像を広げる。 ○教科書の参考作品は、材料が何に生かされているか発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・毛糸でふわふわしたヤシの木 ・綿でうさぎ ・青い包装紙の魚 ★材料を組み合わせる楽しい絵をつくろう ○材料の形や色、質感などから想像を広げ、絵に表すことを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・網の形は何かに使えるかな。 ・空色のフリルが波に見えたよ。 ・タオルのふわふわな感じが、動物の毛にぴったりだな <p>2～5 材料を組み合わせ、思い描いた絵をかく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○使いたい材料を選ぶ。 <p>○思い描いた形になるように、切ったり、ちぎったり、組み合わせたりしながら表す。</p> <p>○画用紙に貼りながら、表したい内容をかき加える。</p> <p>○作品カードを書き、友達と作品を見せ合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・作品の題 ・表したかったこと </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書1・2下 P.46, 47 ・事前に身近にある自然の材料を集めさせておく。 ・材料との出会いを楽しませるために、関わる時間を十分に確保する。 ・児童の発言から、材料の特徴をどのように生かしているか気付かせる。 ・材料を組み合わせ、思い付いたことを絵に表すことを知らせる。 ・持ってきた材料を組み合わせながら、何に使えるか考える。 ・材料で足りないものを、次時まで集めさせる。 ・材料に触ったり並べたりしながら、使いたい材料を選ばせる。 ・画用紙の上で、切ったりちぎったりした紙や材料を並べ、つくりたい形になるように組み合わせを工夫させる。 【評】 作品を通して、材料の形や色を生かし、組み合わせながら表し方を工夫する「知識・技能」を評価する。 ・材料に合わせた接着方法を助言する。 ・クレヨン・パスや絵の具などでかき加えさせる。 【評】 作品を通して、材料を見たり触ったりしながら、表したいことを考える「思考・判断・表現」を評価する。 ・作品カードを書かせ、鑑賞の参考にさせる。 ・お互いの作品を見て、工夫したことやよさを話し合わせる。 ・どのような材料を使っているか、触れてみることで、目と手で感触をとらえ、感じたことを話すように促す。 【評】 自分や友達の作品を見てよさを感じ取る活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。 【評】 作品やこれまでの学習活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】